



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月14日

上場会社名 モビルス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4370 URL <http://mobilus.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石井 智宏
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)加藤 建嗣 (TEL)03(6417)9523
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績 (2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,231	8.7	71	△73.8	△98	—	△91	—	△179	—
2022年8月期第3四半期	1,132	25.9	271	44.7	149	41.8	144	21.0	98	△29.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	△30.56	—
2022年8月期第3四半期	16.86	16.34

(注) 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期第3四半期 — 百万円 2022年8月期第3四半期 — 百万円

※EBITDA (営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,293	1,943	84.7
2022年8月期	2,649	2,189	82.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 1,942百万円 2022年8月期 2,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,752	11.6	△190	—	△184	—	△226	—	△39.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	5,973,674株	2022年8月期	5,927,284株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	158,056株	2022年8月期	2,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	5,860,856株	2022年8月期3Q	5,812,744株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み、景気回復の兆しが見られました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や世界的なインフレと金融引き締めによる海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなり、景気の先行きについては引き続き注視を要する状況にあります。

当社の経営環境としては、国内企業の人手不足感の高まりやコスト削減への圧力から、コンタクトセンターの効率化及び自動化へのニーズは引き続き高く、またChatGPTなどの生成AIの技術的進化に伴い今まで効率化が困難であった領域における自動化への期待が高まることに伴い、コールセンターへの投資マインドが一段と醸成されつつあります。

当第3四半期累計期間の売上高については、当社の主要事業であるSaaSサービスは、コアプロダクトであるMOBI AGENT(モビエージェント)が順調にユーザー企業数を伸ばしており、金融、メーカー、サービスと業界を問わずにリーディング企業に採用を頂きました。特に、セキュリティ向上のニーズが高い企業には、PCI DSSを取得した環境で安全に対応可能なセキュア・コミュニケーション機能「Secure Path (セキュアパス)」の導入が進みました。また、AI電話自動応答システムMOBI VOICE(モビボイス)は、顧客対応業務やバックオフィス業務の効率化の一環などの背景から、ユーザー企業が拡大してきております。2023年5月末時点で、当社SaaSプロダクトの契約数は305件(前年同期比115%)となりました。プロフェッショナルサービスは、カスタマイズ案件及び有償カスタマーサクセス案件の獲得が前年と同水準に推移しました。イノベーションラボサービスは、継続案件の減少に伴い、前年同期に対して低い水準で推移いたしました。また、費用面においては、SaaSサービスのうちMOBI VOICE(モビボイス)を利用した従量課金売上増加に伴う費用の増加、前事業年度後半からの組織強化を目的とする積極的な採用にともなう人件費の増加、広告宣伝活動の強化及び本社移転にともなう一過性のコスト増から、売上原価および販管費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,231百万円(前年同期比8.7%増)、営業損失は98百万円(前年同期は営業利益149百万円)、経常損失は91百万円(前年同期は経常利益144百万円)、四半期純損失は179百万円(前年同期は四半期純利益98百万円)となりました。

なお、当社はSaaSソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、サービス別の売上高は、以下の通りであります。

サービスの名称	第11期第3四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	第12期第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
	販売高(千円)	販売高(千円)
SaaSサービス	578,262	733,290
プロフェッショナルサービス	343,579	346,525
イノベーションラボサービス	210,485	151,520
合計	1,132,326	1,231,336

また、当社が重視している経営指標の推移は、以下の通りであります。

ARR(注1)の推移

	2022年8月期				2023年8月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
ARR(千円)	671,979	712,187	715,943	772,556	812,100	890,399	926,826
うち直販(千円)	257,401	277,806	287,704	319,848	345,633	379,285	390,996
うち代理店(千円)	238,373	242,773	240,040	262,760	276,840	307,288	323,825
うちOEM(千円)	176,204	191,606	188,197	189,947	189,627	203,825	212,004

(注1) ARR: Annual Recurring Revenueの略語であり、毎年経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額。四半期末月のMRR(毎月経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額)を12倍することにより算出。

サブスクリプション売上高(注2)の推移

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期 第3四半期
サブスクリプション売上高(千円)	543,969	702,133	646,563
売上高全体に占める割合(%)	44	45	53

(注2) 経常的に得られる当社製品の利用料の12ヵ月間の合計額。

サブスクリプション型のリカーリングレベニューに関わる契約数(注4)及び契約あたりの平均MRR(注5、注6)の推移

	2022年8月期				2023年8月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
契約数(件)	249	264	266	272	280	291	305
契約あたりのMRR(千円)	166	164	165	178	185	196	195

(注3) OEMを除く。

(注4) MRR: Monthly Recurring Revenueの略語であり、毎月経常的に得られる当社製品の月額利用料の合計額。

(注5) OEMを除く。四半期末月のMRRを契約数で除することにより算出。

直近12ヵ月平均解約率(注6)の推移

	2022年8月期				2023年8月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
解約率(%)	0.75	0.97	1.00	1.15	1.19	1.16	1.03

(注6) OEMを除く。「当月の解約による減少したMRR÷前月末のMRR」の12ヵ月平均。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,628百万円となり、前事業年度末に比べ402百万円減少いたしました。これは主に納税等による現金及び預金の減少244百万円、売掛金の減少130百万円があったことによるものであります。固定資産は662百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に本社移転に伴う有形固定資産の増加10百万円及びソフトウェアの増加39百万円によるものであります。

この結果、資産合計は2,293百万円となり、前事業年度末に比べ355百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は339百万円となり、前事業年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少70百万円、未払消費税等の減少26百万円、未払金の減少16百万円及び賞与引当金の減少12百万円があったことによるものであります。固定負債は10百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円増加いたしました。これは繰延税金負債の増加4百万円及び長期前受金の増加5百万円があったことによるものであります。

この結果、負債合計は350百万円となり、前事業年度末に比べ109百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,943百万円となり、前事業年度末に比べ246百万円減少いたしました。これは主に新株予約権（ストックオプション）の行使による増加4百万円、譲渡制限付株式の発行による増加15百万円、自己株式の取得による増加99百万円、自己株式の処分による減少9百万円及び四半期純損失の計上179百万円によるものであります。

この結果、資本金438百万円、資本剰余金1,407百万円、利益剰余金186百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日に公表いたしました業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、2023年6月26日公表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,479	1,387,807
売掛金	302,142	171,445
仕掛品	31,294	2,785
貯蔵品	118	108
前払費用	42,492	42,198
その他	22,785	33,671
貸倒引当金	—	△9,130
流動資産合計	2,031,312	1,628,886
固定資産		
有形固定資産	18,119	28,466
無形固定資産		
ソフトウェア	544,940	584,725
その他	526	467
無形固定資産合計	545,466	585,192
投資その他の資産	49,817	48,637
固定資産合計	613,403	662,296
繰延資産	4,625	2,649
資産合計	2,649,341	2,293,832

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,253	23,633
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払金	101,237	84,897
未払費用	7,683	3,071
未払法人税等	73,268	2,572
未払消費税等	26,629	—
契約負債	66,004	94,368
預り金	10,299	8,293
賞与引当金	35,830	22,852
資産除去債務	6,500	—
流動負債合計	459,705	339,690
固定負債		
繰延税金負債	—	4,690
長期前受金	—	5,984
固定負債合計	—	10,674
負債合計	459,705	350,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	428,573	438,827
資本剰余金	1,394,740	1,407,872
利益剰余金	365,296	186,192
自己株式	△31	△90,524
株主資本合計	2,188,579	1,942,367
新株予約権	1,056	1,100
純資産合計	2,189,635	1,943,467
負債純資産合計	2,649,341	2,293,832

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	1,132,326	1,231,336
売上原価	466,234	626,815
売上総利益	666,092	604,520
販売費及び一般管理費	516,328	702,861
営業利益又は営業損失(△)	149,764	△98,340
営業外収益		
受取利息	8	7
雑収入	114	140
協賛金収入	—	13,000
営業外収益合計	122	13,148
営業外費用		
支払利息	902	793
為替差損	1,069	590
株式交付費償却	1,807	1,975
本社移転費用	—	885
雑損失	1,399	2,489
営業外費用合計	5,179	6,734
経常利益又は経常損失(△)	144,707	△91,926
特別損失		
固定資産除却損	876	7,561
仕掛品評価損	—	56,523
貸倒引当金繰入額	—	9,130
特別損失合計	876	73,215
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	143,830	△165,141
法人税、住民税及び事業税	49,348	1,414
法人税等調整額	△3,528	12,547
法人税等合計	45,819	13,962
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,011	△179,104

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間に、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式の発行により、発行済株式数が46,390株、資本金及び資本準備金がそれぞれ10,253千円増加しております。

また、2022年11月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、取得株式数220,000株、総額100,000千円を上限として、2022年11月14日から2023年2月28日の期間で自己株式の取得を行いました。これにより当第3四半期累計期間において自己株式を170,910株取得し、自己株式が99,954千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が438,827千円、資本剰余金が1,407,872千円、自己株式が△90,524千円となっております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却について)

当社は、2023年6月23日、当社が保有する投資有価証券の売却について決定いたしました。

(1) 投資有価証券売却の理由

事業環境の変化に合わせた機動的な投資実行への備えとして、保有資産の効率的運用を図るため

(2) 投資有価証券売却の内容

①売却株式 : 当社保有の非上場有価証券1銘柄

②投資有価証券売却日 : 2023年6月30日

③投資有価証券売却益 : 61百万円

(3) 譲渡先の概要

(1) 名称	株式会社JAPANDX
(2) 所在地	東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング6階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 菅原 貴弘
(4) 事業内容	DX推進事業
(5) 資本金	20,000千円
(6) 大株主及び持ち株比率	株式会社エルテス 100%
(7) 設立年月日	2020年12月11日
(8) 当社と当該会社の関係	資本関係 該当事項はありません。 人的関係 該当事項はありません。 取引関係 該当事項はありません。 関連当事者への該当状況 該当事項はありません。

※本件株式譲渡実行日までに、当社保有の非上場有価証券1銘柄をアジア・コマース株式会社に一時的に譲渡し、アジア・コマース株式会社は株式会社JAPANDXに同額で譲渡いたしました。なお、アジア・コマース株式会社は関連当事者に該当いたします。